

昨日の「朝の会」前に、地区陸上競技・水泳大会壮行会を行いました。選手の意気込み、応援団による応援など、短い時間の中で集中して選手の士気を高めるとともに、私から2つのことを話しました。

一つ目は、「精神面をしっかりと保って欲しい」ということ。

競技の直前や途中で、緊張したり、相手に圧倒されたりする場面に出合うかも知れません。また、相手より優位に立ち、競技を行うかも知れません。不利でも有利でも、最も大きな敵は、自分の心の中にあります。

勝っていても油断せず、負けていたなら最後まで必死に食らいつく。この気持ちこそが、精神面を磨き、今後の生活につながっていきます。

他校の生徒たちと立派なグラウンドやプールで競える機会は、誰もが経験できるものではありません。この貴重な時間に感謝し、是非、自己ベスト更新、そして上位入賞を果たして欲しいと願っていること。

二つ目は、「周りの方々を敬う心を、素直に表現して欲しい」ということ。

応援のときは、頑張っている選手の気持ちになって声援を送り、係の仕事では、選手が気持ちよく競技できるように、てきぱきと動く。挨拶においては、進んで、役員の先生方などに「こんにちは」、競技を終えた選手には「お疲れ様」と、相手にははっきりとした声を届けて欲しい。

これらを磨く際には、周りを眺めた時、気持ちが落ち込んでいる、みんなについていけず悩んでいる、とても困っている、自分が苦手としている、こうした仲間を探し、寄り添おうとする気持ちをもつことだと思います。自然と応援の声にも迫力が増し、チーム力も上がってきます。

大リーグで活躍したイチロー選手の言葉に、

「 「できなくてもしょうがない」は、終わってから思うことであって、途中でそれを思ったら、絶対に達成できません。 」 があります。

結果が出る瞬間まであきらめず挑戦し、多くの喜びを井波中学校に届けてくれることを期待しています。